

「強化特別委員会」 第2回設立検討委員会 報告書

1. 県協会会長挨拶〔赤坂〕
 2. 強化特別委員会スタッフ学習会
講師：岩手県体育協会〔横坂〕
内容：いわてスーパーキッズ発掘・育成事業について
 3. 議事〔進行：藤原〕
☆決定事項
 - ①強化特別委員長
→宮澤（選考委員会より提案）
 - ②強化特別委員会組織のスキーム
→地区担当委員の新設（ミニ連 11 地区、中体・中学生連 14 地区）
 - ③強化特別委員会の委員・スタッフの人選
 - ・副委員長
→大内（事務局長）、山本（国体等担当）、菅原（エンデバー担当）、青木（指導者育成担当）、上田（審判担当）、若林（総務担当）、菅野（会計担当）
→千葉（中体・中学生連）、室岡（高体連）、金（成年）
 - ・補佐的委員
→熊谷（事務局）、菊池（国体等担当）、兼田（エンデバー担当）、抱石（指導者育成担当）、松岡（審判担当）、中村（総務担当）、高橋（会計担当）
 - ・種別担当委員→種別で人選
→中体・中学生連（委員、H19 ジュニアオールスタースタッフ、エンデバースタッフ）
→高体連（委員）
→成年（H19 成年男女ヘッドコーチ）
 - ・指導者育成担当委員
→及川（ミニ連）
→大田代（中体・中学生連）
 - ・アドバイザリースタッフ
→12名
 - ④設立検討委員会は2回（4.7、5.20）で終了
→強化特別委員会としてスタート
 - ⑤いわてスーパーキッズ発掘・育成事業の県協会としての担当者
→宮澤強化特別委員長
- ☆強化特別委員会としての今後の取り組みと進め方
- ①強化特別委員会の委員・スタッフの人選と報告（未決定分）、組織図・名簿の作成
 - ・副委員長（ミニ連）→県ミニ連理事会（7.28）で決定予定
 - ・種別担当委員→種別で人選
→ミニ連（委員、選抜チームスタッフ・エンデバースタッフを兼務）
→高体連（H19 少年男女スタッフ・エンデバースタッフは高総体終了後決定予定）
→成年（委員、H19 成年男女スタッフ）
 - ・指導者育成担当委員（高体連・成年）→種別で人選
 - ・アドバイザリースタッフ
→メディカル（人選検討中）、メディア（人選決定）、その他適任者を増員予定
 - ・地区担当委員

→ミニ連（県ミニ連理事会で理事長・強化特別委員長等で趣旨説明）

→中体・中学生連

②第1回強化特別委員会の開催前に、以下の会議（打合せ）を設ける。会議設定日が決まり次第、理事長に報告。

- ・委員長、副委員長会議
- ・種別会議（ミニ連、中体・中学生連、高体連、成年）・・・横のつながり
- ・担当別会議（国体等担当、エンデバー担当、指導者育成担当、審判担当、総務・会計担当）・・・縦のつながり
- ・地区担当委員会（ミニ連、中体・中学生連）・・・斜めのつながり
 - ミニ連（理事長・強化特別委員長・指導者育成担当・アドバイザースタッフ等参加予定）
 - 中体・中学生連（理事長・強化特別委員長・エンデバー担当・指導者育成担当等参加予定）

各種別・担当別会議では、H28岩手国体を見据えた長期的な計画（大まかなもので良い、努力目標で良い）を検討する。また、今年度（できれば来年度まで）の事業等実施計画を検討する。検討内容は理事長に報告。

③国体等（選抜チーム）の取り組み

- ・H19は種別毎の従来までの取り組みを実践しながらも、各種別及び種別を超えた連携体制を確立し、長期的展望を検討していく。（H23北東北インターハイ・H28岩手国体に向けて）
- ・成年種別はクラブ連・学連・教員連間での連携を図り、選抜チームのスタッフのみならず、指導的立場のスタッフや若手や女性スタッフの育成も視野に入れて、委員の幅広い人選と強化体制を検討していく。
- ・チーム強化と審判員強化の連携体制を構築する。（学習会やミーティング等）

④エンデバーの取り組み

- ・従来までのブロックエンデバーへの取り組みの継続と、県エンデバーの実践体制の検討をしていく。（H20ブロックエンデバー開催に向けての準備）
- ・ミニ（U-12）からU-15、U-15からU-18の連携体制を整え、一貫指導システムの確立をめざすとともに、普及活動に努める。

⑤指導者育成の取り組み

- ・指導者講習会の実施及び内容を検討する。
- ・強化特別委員会の中でも特に指導者育成担当者を中心に、ミニの指導者の現状把握に努める。ゆくゆくは指導者の学習会を地区要請形式（現状で実施されている地区別審判講習会のような形式）で実施できるよう検討する。
- ・チーム強化指導 50%、年代別個人指導 50%の意識の浸透活動に取り組む。誤った指導方法や指導理念に対しては、日本ミニ連が掲げる理念や県協会の強化指導方針に基づき、指導者の資質向上に取り組む。
- ・ミニ連、中体・中学生連の指導者への一貫指導システムの普及活動を、エンデバー担当と連携しながら実践していく。

⑥県協会及び他専門委員会（総務・競技・審判）との連携を図り、県協会組織や規約の改正・県協会予算（強化予算）の見直し・大会スケジュールの検討等に取り組む。

⑦いわてスーパーキッズ発掘・育成事業の学習と協力体制を検討していく。

⑧HPを活用した連絡・普及活動を推進していく。